



【報告】

おきなわ CSR フォーラム 2011

『企業×NPO～新しい時代の協働のカタチ～』

- 日時：2011年10月28日（金） 13:30-17:30（13:00開場）※終了後懇親会有り。
- 場所：テンプスホール（那覇市ぶんかテンプス館4F）
- 参加費：無料
- 対象：県内企業 CSR 関係者、NPO スタッフ、NPO 中間支援組織スタッフ、行政職員、市町村社会福祉協議会職員
- 登壇者数：5名＋講師補助9名（ファシリテーション補助）
- 来場者数：121名
- スタッフ数：10名
- 主催：那覇市（地域づくり・公益活動支援事業）、公益財団法人みらいファンド沖縄
- 後援：内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、（社）沖縄県経営者協会、那覇商工会議所、沖縄県中小企業家同友会、（社）那覇青年会議所、沖縄県社会福祉協議会、（財）沖縄県公衆衛生協会、（独）国際協力機構 沖縄国際センター、沖縄タイムス社、琉球新報社、タイフーン fm（順不同）



■概要

2011年10月28日（金）、テンプスホールにて「おきなわ CSR フォーラム 2011」を開催いたしました。当日は121名の方々にご来場いただき、大盛況となりました。企業からは CSR・社会貢献の担当者や経営者が、NPO からは企業との協働を模索する方が集まり、加えて行政や学生の方の参

加もあり、近年の CSR 活動への興味関心の高まりが感じられました。

この催しでは社会課題の解決のため、企業と NPO が互いに支え合うパートナーとして求められていることを確認し、テーブルを囲んでワークショップを実施することで出会いの機会を提供し、新たな協働が生まれるきっかけとなりました。

■ 詳細

— 基調講演 —

基調講演 『新しい時代の協働のカタチ』

鶴尾 雅隆氏 (日本ファンドレイジング協会常務理事)

第1部の日本ファンドレイジング協会の鶴尾雅隆さんの基調講演は、隣の席の人に自分の夢を1分で語るアイスブレイキングから始まりました。その後、震災後の日本人の価値観の変化や寄付税制の改正など日本社会の変容を紹介し、その中でNPOが発揮できる共感力についてお話されました。時折参加者同士で意見交換をする時間を設けながら、企業とNPOが肩を並べて地域課題に立ち向かっていく重要性について話を深めていきました。



(▲ 鶴尾 雅隆氏 基調講演)

— 県内事例紹介1 (ラジオ公開収録) —

『消費者との接点を提供しドクターヘリを支える』

茂木 正徳 氏

(株式会社リウボウストア 代表取締役社長)

小橋川 繁 氏

(認定NPO 法人メッシュ・サポート 事務局長)

第2部では、県内の企業とNPOの協働事例として、2組に登壇いただきました。

この2組のお話は、タイフーンfmで県内の協働事例を放送している番組「CSR ヒトワク」の、初の公開収録として企画したものです。実際に協働を行っている企業とNPOの「生の声」が聞ける、というのがこの番組のポイントになっていますが、今回は声だけでなく、それぞれの深い信頼やパートナーとしてwin-winの関係性を築いているということを会場参加者にはその目で確かめていただけたようです。

リウボウストア茂木社長は震災後、復興支援金に移行する企業が多い中、継続して各店舗にメッシュの募金箱を設置し続け、本島南部地域から支援を集める窓口となってきました。地道ではあるものの、常に資金調達が必要なメッシュサポートにとって力強い支援であることがわかりました。



(▲ 中央：茂木氏 右：小橋川氏 県内事例1)

— 県内事例紹介2 (ラジオ公開収録) —

『くいまーる豚プロジェクト (食のリサイクル)』

鈴木 宏明 氏

(合資会社オキスイ 資源循環事業本部長)

古我知 浩 氏

(沖縄リサイクル運動市民の会 代表)

2組目のお二人は20年以上も前から、衰退していく養豚業と生ゴミを大量に焼却処分する沖縄の将来を憂い、循環型社会の実現を夢見ていました。それを解決すべく各スーパーから出る生ゴミを飼料化し、豚を育てる仕組みを作り、食のリサイクルを実現してきました。互いの強みを活かした連携と社会課題解決に対する情熱が伝わりました。



(▲ 中央：鈴木氏 右：古我知氏 県内事例2)

分科会 WS「協働模擬体験」

(沖縄を企業・NPO 連携で全国 1 位にする委員会)

第 3 部では、参加者全員が 8~9 名のグループに分かれてワークショップを行いました。「企業と NPO がチカラをあわせてもっと魅力的な社会を創るために、何が課題で何が必要かを一緒に考えよう」と題し、「沖縄を企業・NPO 連携で全国 1 位の県にする委員」になったつもりで、企業・NPO・行政・学生が一緒のテーブルにつき、所属や身分の制限を忘れ、一人の人間としてよりよい社会を想像し、それを実現させるためには何が必要かを話し合いました。

各テーブルには沖縄県内の NPO を支援する団体の方々にファシリテーターとして入って頂き、意見の取りまとめなどを行なって頂きました。



(▲ フォーラム会場の様子 **ワークショップ発表**)

協働事例パネル展&CSR ヒトワク協働大賞の実施 (展示に来場者がシール投票し、表彰)

県内の企業と NPO の協働事例の共有のため、会場後方で過去一年間(2010 年 10 月~2011 年 9 月)に渡り県内の協働事例の放送を続けてきたタイフーン fm「CSR ヒトワク」の出演者の中から 12 事例についてパネル展示で紹介して頂きました。

参加者はその展示をみてパートナーシップ度、新発見度、ユニーク度の 3 項目についてシール投票で評価しました。

それぞれの項目において得点の高かった 3 組と 3 項目の合計得点の高かった 1 組を CSR ヒトワク協働大賞として計 4 組の取り組みを懇親会時に表彰致しました。



(▲ 協働大賞表彰の様子 **懇親会**)

【グランプリ】 総合投票数：48 票

株式会社トリム×NPO 法人沖縄緑のカーテン応援団

「廃ガラス再生材を使った涼しく楽しいエコ活動緑のカーテン推進事業」

【パートナーシップ賞】 部門投票数：19 票

株式会社 JAL スカイ那覇・社員会 × NPO 法人アメリカンスクール・イン・オキナワ

「働く現場と教育の場のコラボ社員会主導の職業体験」

【新発見賞】 部門投票数：19 票

NEC 社会貢献室 × NPO 法人マドレボニータ

「母となって働く・働きたい女性たちのエンパワメントのために NEC ワーキングマザーサロン」

【ユニーク賞】 部門投票数：22 票

有限会社新垣菓子店 × 乳がん患者の会びんく・ばんさあ

「沖縄の伝統菓子が乳がん患者を勇気づけるバレンタイン商品の売上の一部を NPO へ寄付」

営利(企業)と非営利(NPO)のベクトルは真逆を向いているかのように見えますが、より良い社会を目指しているのは互いに同じ。与える・与えられるの関係ではなく、地域課題の解決のための良きパートナーとなり得ます。今回のフォーラムはその出会いのキッカケとなったかと思います。

会場を後にする参加者からは、ワークショップで出たアイデアやニーズの実現と、今回のようなマッチングの機会の提供を期待する声が多く聞かれました。

ご参加くださいました皆様及び、フォーラムの開催を支えてくださいました関係者の皆様に、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。ありがとうございました。



(▲ フォーラム会場の様子 終了時)

みらいファンド沖縄では、今後も、市民社会を支える力を育むために、地域社会の資金循環を促す様々な取り組みを行ってまいります。何卒ご注目くださいますようお願い申し上げます。

(2011年11月16日)

写真撮影：DIGICOOOL

■登壇者

- ・ 鶴尾 雅隆 氏 (日本ファンドレイジング協会)
- ・ 茂木 正徳 氏 (株式会社リウボウストア 代表取締役社長)
- ・ 小橋川 繁 氏 (認定NPO法人メッシュ・サポート 事務局長)
- ・ 鈴木 宏明 氏 (合資会社オキスイ 資源循環事業本部長)
- ・ 古我知 浩 氏 (沖縄リサイクル運動市民の会 代表)

■挨拶

- ・ 倉岡 大樹 氏 (株式会社ディスカバーウエディング 代表)
- ・ 島田 聡子 氏 (那覇市市民文化部 まちづくり協働推進担当参事)

■ファシリテーション補助 (順不同)

- ・ 宮道 喜一 氏 (特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 副理事長)
- ・ 下地 美香 氏 (特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく)
- ・ 西 智子 氏 (社会福祉協議会沖縄県ボランティア・市民活動支援センター)

- ・ 長田 英己 氏 (財団法人気候アクションセンターおきなわ)
- ・ 玉城 直美 氏 (特定非営利活動法人沖縄 NGO センター 事務局長)
- ・ 森 雅裕 氏 (沖縄市市民活動交流センター センター長)
- ・ 佐久間 愛弓 氏 (独立行政法人 JICA 沖縄国際センター)
- ・ 小阪 亘 (公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事)
- ・ 平良 斗星 (公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事)
- ・ 玉城 真奈美 (公益財団法人みらいファンド沖縄)

■司会

- ・ 諸見里 杉子 氏 (Pana Works)

【関連情報】

今フォーラムで基調講演を行った鶴尾氏とみらいファンド沖縄代表理事小阪氏の対談と、県内事例提供された2組のお話は、収録され、ラジオ番組CSRヒトワクでも紹介しました。インターネット上のポッドキャストでいつでも聞くことができます。

■ラジオ番組CSRヒトワク 2011

- ・ 第15回『新しい時代の協働のカタチ』

「日本ファンドレイジング協会 常務理事 鶴尾 雅隆×公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 小阪亘」

(2011年10月27日放送)

- ・ 第16回『消費者との接点を提供しドクターヘリを支える』

「株式会社リウボウストア 代表取締役社長 茂木 正徳×認定NPO法人メッシュサポート 事務局長 小橋川 繁」

(2011年11月10日放送)

- ・ 第18回『くいまる豚プロジェクト～食のリサイクル～』

「合資会社オキスイ 資源循環事業本部長 鈴木 宏昭×沖縄リサイクル運動市民の会 代表 古我知 浩」

(2011年12月8日放送予定)

<http://miraifund.org/?p=3540>